

思 考

頭の中を整理する為には、情報を出力する事が大切です。人間が情報を出力する方法の一つに書く事があり、これはとても有効な方法の一つです。頭の中で考えたことを、情報として出力する（書く）事で見えてくるものがあります。自身の考え方にも、もちろん他者の考え方にも変化をもたらします。

多くの方が書く事を活用して、自身や他者に情報を発信しています。

日記をインターネットに配信しているベンチャービジネスの経営者や、会議の際スケッチブックに要点を記入しながら説明するIT企業の経営者がいます。今までは取材やインタビュー等限られた機会しか知りえなかった社長の持論も、昨今は社長本人がSNSを活用する事でタイムリーに且つ頻繁に述べていて世界中の人が見ることが出来ます。また、あるベストセラー作家は喫茶店やレストランでふと思いつき、ナプキン・はし袋に走り書きしたアイデアが一番お金になるとも言っています。つまり、あまた出版されている書籍も含まれるのです。

折角ですから書く事を企業の問題点を洗い出しや、解決策を整理する目的で活用してみませんか。

自分の会社の事を一番解っているのは社長自身です。また、自分の会社をどうしたいか一番解っているのも社長自身です。社長が一人で考える（思っている）だけでは会社の中は変わりません。

社長の思いを常に従業員に伝える為には、書いて整理し、期限も含めて明示するのが一番です。社訓・啓発の掲示板などが従業員を導いているのは事実で、多くの企業が実践していますからその効果は証明済みです。

思考のスピードは書く速さの数倍の速さで進みます。先のベストセラー作家のように要点だけでもメモに残しておきましょう。そのメモを見ただけで、その時の考えがいつでもよみがえってきますし、その蓄積により会社の理想像がさらに明確になります。

社長がアイデアを考え、伝えることで従業員とともに理想の会社を構築しましょう。

参考書籍

頭がよくなる思考術 著者 白鳥晴彦 ディスカヴァー・トゥエンティワン